

陶都会だより

2022年

3月20日発行号

習字レクにて、利用者 M.T 様に題目を書いていただきました。

R4.3.4 ひな祭り会



当日の行事食♪



おやつのおまんじゅう

ひな祭りの時季になりましたが、今年もコロナが蔓延している為お雛様と一緒に写真を撮ったりお食事やおやつで楽しんで頂いたり、小規模なひな祭りになってしまいました。来年こそはコロナが終息し、皆様と心から楽しめるひな祭りが行える事を願っております。

【今月の内容】

- ◆ひな祭り会 1
- ◆1年間の振り返り（1階・2階・3階・4階） 2
- ◆施設満足度調査結果報告 3
- ◆嗜好調査結果報告 4
- ◆農福連携事業・セラピー犬ちい 5
- ◆多容荘 6

陶都会オフィシャルサイト

<http://tohtokai.jp>

読み取りはこちら→



今年度の振り返り



ショート



今年度も、コロナに翻弄される一年でした。その中で出来ることを考え少しでも楽しんで頂ける時間を過ごして頂きました。その中で音楽を中心としたレクリエーション活動が多く、ちょっとした時間の活用であったり、どのご利用者に対しても参加が可能という点においても有効だと思います。今後もショートステイ職員一同、皆さんに楽しんで頂けるサービスを提供出来る様に実行していきます。

2F 特養



施設全体が新体制となり、職員一人一人、役職に関わらず職員の自立と自律、という新体制で取り組んできました。コロナ禍で中止になったこともありますが、昨年度の反省を活かし、人と人との繋がりを大切にしたケアを実施し、職員自ら考えギター演奏を行うなど、生活される利用者様も働く職員も一人ひとり全員が主役となるフロアに近づく事ができたと思います。

3F 特養



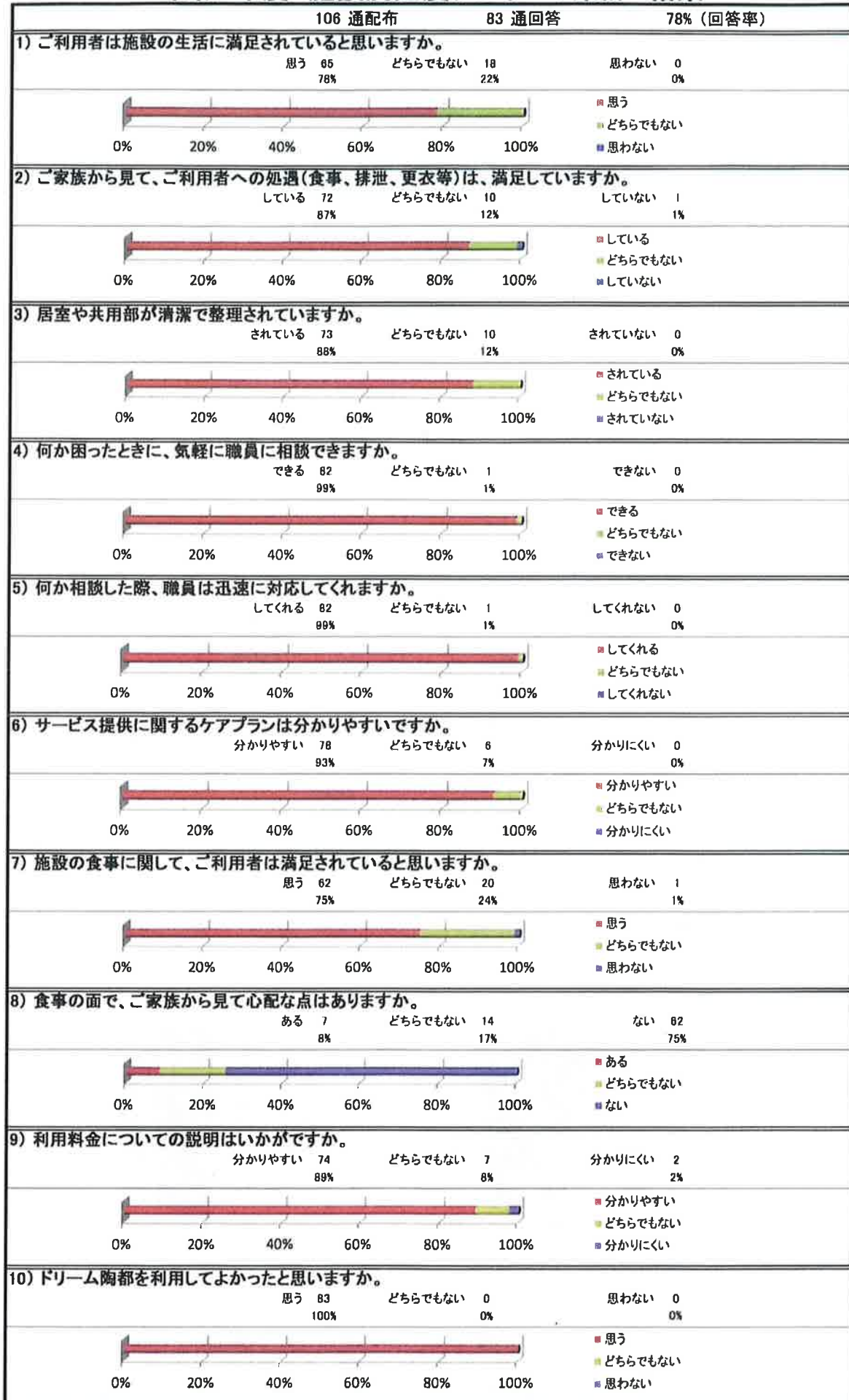
年度末になり私たちが遂にその当事者になってしまったコロナという禍い、世界でも収まる気配はなく、他の禍いもあり、先が見通せない不安な毎日が続いていますが、その中でも前を見て進めば、良い未来があるに決まっています。ご安心を。

ケアハウス



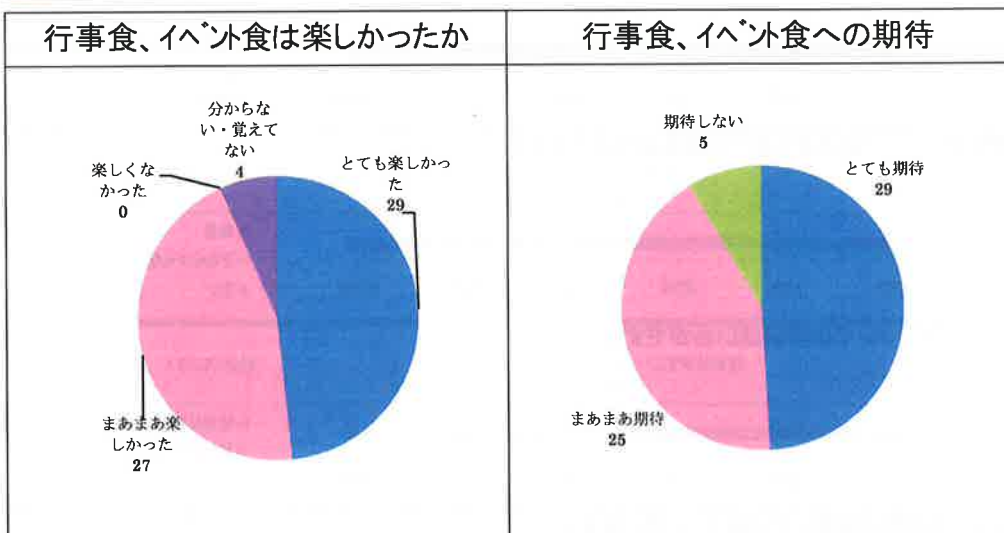
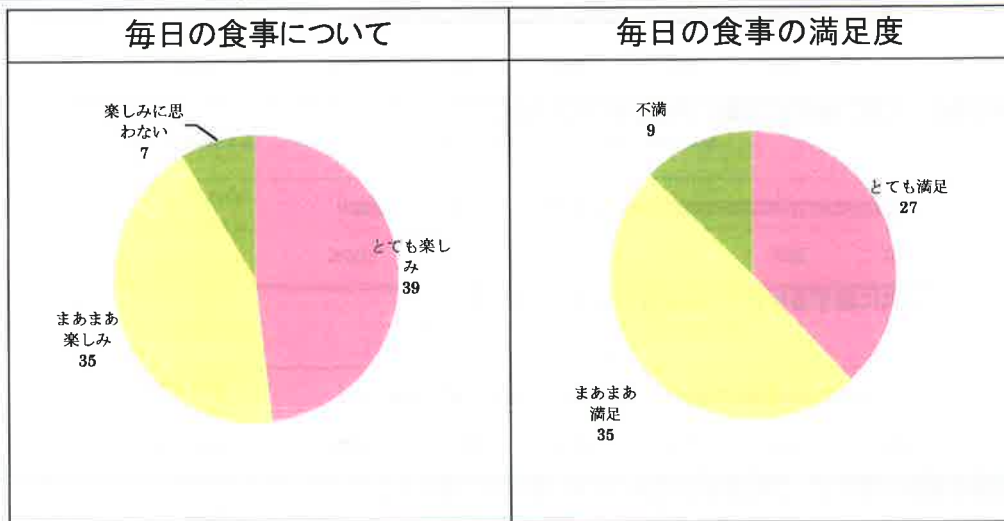
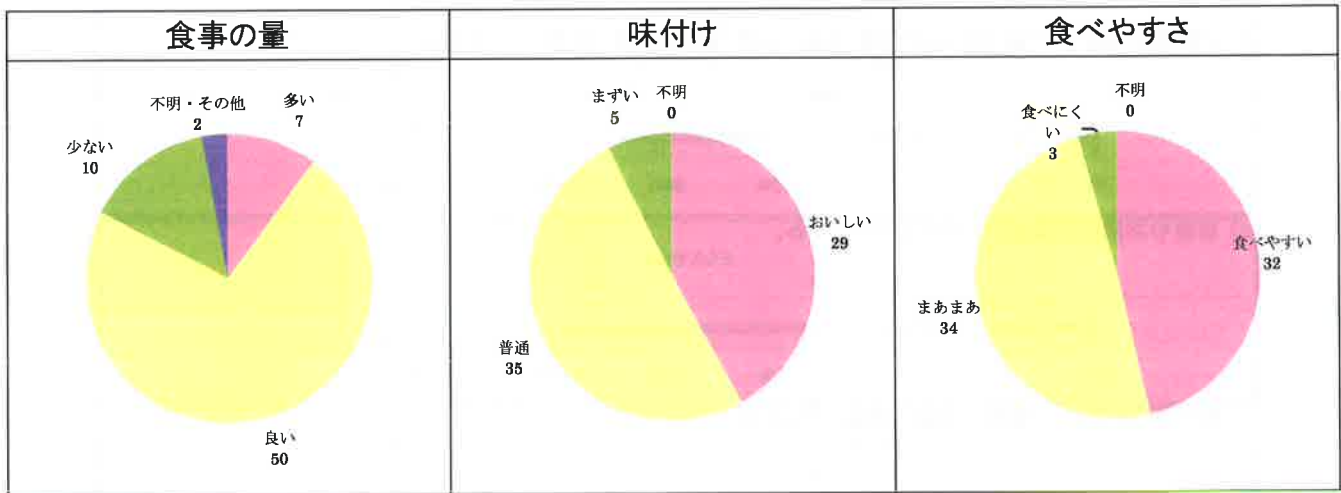
今年度もコロナ禍が続き、表立った活動が出来ない中、利用者様には少しでも気分転換が出来ればと、岐阜県の動向を見ながら、お花見と紅葉狩りに外出することが出来ました。ご家族様とも思うように面会が出来ないため、レクリエーションや農園での活動を多く取り入れてきました。参加人数も増え、活動意欲が見られるようになっていきます。また、国立長寿医療研究センターと関わり、農園活動や寺子屋の様子、認知症に関する検査を行っていただくことで、今後に繋げていきたいと思っております。

令和3年度 施設満足度アンケート集計 結果



ご協力ありがとうございました

嗜好調査結果報告



今回の調査では、行事食やイベント食についてたくさんのお言葉をいただきました。コロナ渦が続く中、食事が楽しみという方も多く見えました。他にもご意見や感想のお言葉をいただき、ありがとうございました。今後もより満足していただけるような食事の提供を行っていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

栄養部

農福連携事業 進捗状況報告



アローカナの鶏舎に新しい土を入れました。グランドも整備され、元気に追い駆けっこや砂浴びしています。運動の後のおやつは、白菜です。無我夢中で、食べています。

イチゴハウスの様子です。これから、実をつけていきますから、非常に楽しみです。



以前、エンドウの種をポットに入れる作業を利用者様に行っていただきました。ポットから畑に植え替えました。収穫時期がきましたら、またお手伝い宜しくをお願いします。

割烹松正様のご厚意で3月22日開催の「shop2022-パンと器と」に参加させていただきます。

- ・アローカナの卵二個入り50セットとゆで卵70個
- ・下石洋紅（イチゴジャム）30個 を販売します。

詳細は、こちらにアクセス願います。→ <https://pantoutsuwato.com/shop/>

※広報紙の到着日によってすでに終了している場合もございます。ご承知おきください。



セラピー犬『ちい』

セラピー犬ちいがドリーム陶都に来て、5年4ヶ月が経ちました。

前回、「食糞」が原因でちいが体調を崩したことを書きました。職員からもうちの子も「食糞」して困っていると相談がありましたので、少しだけ、書かせてください。

食糞自体は、生物の世界では、そんなに奇妙な行動ではありません。代表的な動物にフンコロガシ（昆虫）がいますし、ウサギもそうです。コアラの場合は、ユーカリを消化できる体内微生物を摂取させるために、母親が自分の糞を子に食べさせるそうです。だからといって大丈夫？では、ありません。糞に含まれる寄生虫や細菌が、犬の体内に入って病気を引き起こす危険がたくさんあるからです。やめさせる為には、どうしたら良いのか？食糞には、理由があるので、なぜ、食糞をするのか考えることが大切です。食事が原因の食糞として、量や消化の問題が考えられます。うんちは、多いほうが健康と考える飼い主さんもいますが、実際は逆です。消化吸収が悪いごはんを食べていると体に摂りこまなかった栄養がうんちと一緒に出るため量が多くなります。そうなる食べているごはんの量は、適正でも実際は、十分に吸収されていない為、犬は、空腹を感じるかもしれません。いつもドライフードであれば、ウェットフードへ変更したりすることで改善される可能性があるそうです。

これは、一例に過ぎません。最後にこんな言葉がありました。「食糞は、愛犬が飼い主さんに何かを伝えたいときのシグナルの一つです。単純にやめさせたいでは、愛犬の気持ちや本当の理由に気付けません。飼い主さんと愛犬がより良い関係を築くきっかけだと考えましょう。」

次号に続く・・・

常務理事：田中 良夫

養護老人ホーム 多容荘

※写真掲載を希望されない方の顔は加工しております。

誕生日者食事会



2月のお誕生日者は
4人。お寿司です！
おめでとうございます！



R4.2.14

バレンタイン



ケーキバイキングです。
ロールケーキ2種の他もう1種類を
選んでいただきましたが、
やはりチョコケーキが人気でした。

R4.2.2 節分会



1日早い節分会を行いました。昼食で大豆ご飯を食べて元気をチャージ！大きな籠を背負った赤鬼と青鬼をより多くの玉を入れることで撃退しました。一度外れた玉も皆さん拾っての再度攻撃！勢いがあります！鬼退治の後には、美味しい緑茶とどら焼きで一息つきました♪



生活困窮者就労訓練事業

次年度である令和4年度より、多容荘でも生活困窮者就労訓練事業を開始致します。今年の2月18日付で岐阜県より正式に認定されました。生活困窮者就労訓練事業とは『・・・就労に困難を抱える生活困窮者に対し、その状況に応じた就労の機会を提供しながら、一般就労に向けた支援を行う事業です。』（岐阜県HPより）まだまだ私たちも手探りのなかではありますが、今の生活環境から脱却したいと思う方々の支援につなげられるよう共に歩いていければと考えております。